



2026年2月24日

各 位

会社名 アンジェス株式会社  
代表者名 代表取締役社長 山田 英  
(コード番号：4563 東証グロース)  
問合せ先 経営企画部長 布施 英一  
<https://www.anges.co.jp/contact>

## 第46回新株予約権発行に係る資金使途の一部変更に関するお知らせ

当社は、本日付の取締役会において、2025年11月7日付「第46回新株予約権（行使価額修正条項付）の発行に関するお知らせ」（以下「第46回新株予約権発行プレスリリース」といいます。）にて公表いたしました、当社第46回新株予約権（第三者割当て）（行使価額修正条項付）（以下「第46回新株予約権」といいます。）の発行及びその行使により調達する資金の具体的な使途及び支出予定時期について、下記のとおり変更することを決議いたしましたので、お知らせいたします。

### 1. 資金使途変更の理由

本日付公表の「無担保私募債ファシリティー（リボルビング型）総額引受契約の締結及び第2回無担保社債（私募債）の発行に関するお知らせ」（以下「ファシリティー契約締結プレスリリース」といいます。）のとおり、当社は、Cantor Fitzgerald Europe（以下「本社債権者」といいます。）と本日付で締結した無担保私募債ファシリティー（リボルビング型）総額引受契約（以下「本契約」といいます。）に基づき、2026年2月27日に第2回無担保社債（私募債）を発行し、同社債を含めて今後も最大2,737,888,650円の無担保普通社債（私募債）を複数回に分けて本社債権者に対して発行することといたしました。

これに伴い、本契約に基づき発行される無担保普通社債で調達する資金（最大2,737,888,650円）を第46回新株予約権発行プレスリリースに記載の資金使途に充当し、代わりに、当該無担保社債の償還資金として第46回新株予約権の行使によって調達した資金を充当することといたします。かかる仕組みにより、当社の事業活動への資金充当の時期を早めることを企図しております。

なお、第46回新株予約権の行使に伴い発行される株式の総数は96,466,100株であるところ、2026年2月20日時点では、このうち9,549,000株を行使に伴い発行し、これにより558,485,100円の資金が調達されています。第46回新株予約権発行プレスリリースに記載した調達資金の各資金使途に関する進捗状況は、以下のとおりです。

#### ① 慢性動脈閉塞症の HGF 遺伝子治療薬のグローバルでの製品価値最大化のための研究開発費用（現時点までの充当済金額：387百万円）

HGF 遺伝子治療用製品は米国における第Ⅱ相臨床試験の結果が良好であったことから、臨床試験を完了とし、BLA申請に向けた準備を進めています。さらに、FDAが定める、医薬品・生物製剤の開発における主要マイルストーンで開催される「正式会合」である Type B Clinical Meeting を実施しました。Type B Meeting は、開発中の医薬品や生物製剤において、臨床や製造、品質管理など、申請に向けた重要なポイントについて FDA と共同でデータ要件を確認・協議する場です。協議を通して、申請の質を高め、審査過程における問題の早期解消を図るもので、今回の Type B Clinical Meeting では、臨床に関する申請方針について FDA と合意を得ています。今後、FDA との重要会議として BLA 申請直前に開催される正式なミーティングである Pre BLA ミーティングの 2026 年中の開催に向けて作業を進めています。今回、資金調達を早めることにより、BLA 申請に必要な複数のバッチの原薬製造に着手し、2026 年中の審査開始に向けて準備を加速化させます。

#### ② ACRL の検査受託事業拡大費用（現時点までの充当済金額：0百万円）

当社が運営する希少遺伝性疾患検査を主目的とした衛生検査所である ACRL における拡大

新生児スクリーニングの受託は 2024 年の約 5 万件から 2025 年は約 9 万件と大幅に増加しました。また、直近の設備の稼働状況は、ほぼフル稼働の状況となりました。このような状況を踏まえ、優先順位を考慮しつつ、設備増強等の時期を検討しています。

- ③ Emendo 社の研究開発拠点移転費用（現時点までの充当済金額：0 百万円）  
当社の子会社である Emendo 社の米国での研究開発拠点については、現在複数の候補を比較検討し、開設に向けた計画を策定中です。
- ④ その他の研究開発費を含む運転資金（現時点までの充当済金額：3 百万円）  
優先順位を考慮しつつ、概ね計画に沿って研究開発並びに業務を進めており、必要に応じて運転資金への充当を行っています。

## 2. 資金使途変更の内容

具体的な資金使途の変更の内容は以下のとおりです（変更箇所は下線で示しております。）。

[変更前]

具体的な使途	金額(百万円)	支出予定時期
① 慢性動脈閉塞症の HGF 遺伝子治療薬のグローバルでの製品価値最大化のための研究開発費用	<u>3,087</u>	2025 年 12 月～2027 年 11 月
② ACRL の検査受託事業拡大費用	<u>590</u>	2025 年 12 月～2027 年 11 月
③ Emendo 社の研究開発拠点移転費用	<u>1,000</u>	2025 年 12 月～2027 年 11 月
④ その他の研究開発費を含む運転資金	<u>2,244</u>	2025 年 12 月～2027 年 11 月
合計	6,921	

[変更後]

具体的な使途	金額(百万円)	支出予定時期
① 社債の償還	<u>2,737</u>	<u>2026 年 2 月～2027 年 11 月</u>
② 慢性動脈閉塞症の HGF 遺伝子治療薬のグローバルでの製品価値最大化のための研究開発費用	<u>387</u> (2,532)	2025 年 12 月～2027 年 11 月
③ ACRL の検査受託事業拡大費用	<u>590</u> (590)	2025 年 12 月～2027 年 11 月
④ Emendo 社の研究開発拠点移転費用	<u>1,000</u> (1,000)	2025 年 12 月～2027 年 11 月
⑤ その他の研究開発費を含む運転資金	<u>2,244</u> (2,241)	2025 年 12 月～2027 年 11 月
合計	6,958 (6,363)	

- (注) 1. 上記の金額欄の括弧書きの数値は現時点における未充当額となります。
2. 上記の 1. に記載のとおり、本契約に基づき発行される無担保普通社債で調達する資金を上記②に充当する予定です。
3. 上記①の支出時期については、本日付公表の「無担保私募債ファシリティー（リボルビング型）総額引受契約の締結及び第 2 回無担保社債（私募債）の発行に関するお知らせ」に記載のとおり、第 46 回新株予約権の行使によって当社に払い込まれた金額の累計額が各社債の金額の正の整数倍に達する毎に当該繰上償還を請求できるとされ、償還期日に先立って随時償還されることが予定されております。上記では第 46 回新株予約権の行使期間の末日と合わせて支出時期を記載しておりますが、第 46 回新株予約権の行使状況次第では、支出予定時期の期限は早まる可能性があります。
4. 本契約において、当社の株価終値が第 46 回新株予約権の下限行使価額の 120%に相当

する金額を下回った場合、新規の社債発行はなされない（以下「ファシリティ停止」といいます。）ものとされています。ファシリティ停止が行われた場合には、償還すべき社債が存在しない可能性があります。その場合には、第46回新株予約権の行使により調達した資金を第46回新株予約権発行プレスリリースに記載したとおりの優先順位で上記②から⑤までの各資金使途に充当する予定です。

### 3. 今後の見通し

本資金使途の変更による当社連結業績への影響は軽微であります。今後、開示すべき事象が発生した場合には、速やかに開示いたします。

以 上